

普及活動情勢報告（令和元年 7 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

土着天敵を活用しませんか？・・・中村支所オクラ部会現地検討会・・・



6 月 25 日、中村支所ではオクラ目慣らし会の後、四万十市山路のほ場で現地検討会を実施し、生産者が 9 人参加しました。

農業改良普及課からは昨年実施したアブラムシ類の土着天敵実証ほの結果を報告するとともに、農薬事故や市場トラブルの原因回避のための生産工程管理記録の重要性を説明しました。

また、防風やドリフト対策以外にも土着天敵を呼び寄せる効果のあるソルゴーについても情報提供し、生産者からは、「今からでもソルゴーの播種は大丈夫か」といった質問がありました。

農業改良普及課は、露地オクラにおける土着天敵の発消長について調査していきます。

キュウリ黄化えそ病対策の啓発・・・幡多地区きゅうり研修会の開催支援・・・



6 月 26 日、黒潮町あかつき館において幡多地区きゅうり研修会を開催し、幡多地区のキュウリ生産者 59 人が参加しました。

JA 販売課からの販売情勢報告に続き、JA 営農センターからは黄化えそ病対策に関するキルパー処理実証試験、農業技術センター病理担当から弱毒ウィルス感染株の利用可能性、振興センターからスマート農業の紹介などの情報提供を行いました。

生産者からは、処理が比較的簡便なキルパー処理に高い関心が寄せられました。

農業改良普及課は、次作での黄化えそ病対策に向けて、キルパー処理を始め、総合的な防除方法の指導を行っていきます。

トマトの先端技術を学ぼう！・・・幡多地区環境制御技術研究会でのトマトパーク視察・・・

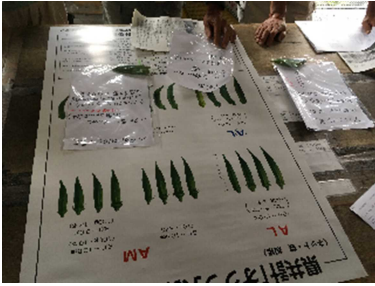


6 月 28 日、幡多地区環境制御技術研究会の会員 8 人で、先端技術を学ぶため、栃木県トマトパークへの視察研修を行いました。

温湯による暖房、外気取込を活用した炭酸ガス施用、LED、蒸散を利用した湿度管理など、大変参考になる技術が多く、参加者全員が活発な意見交換を行いました。

農業改良普及課は、環境制御技術の推進に向けて、研究会活動の支援と併せて、スマート農業の紹介も行い、幡多地区園芸産地の強化を図ります。

露地オクラ、新規就農者が増えました！ ・ ・ ・ 大方支所オクラ部会目慣らし会 ・ ・ ・



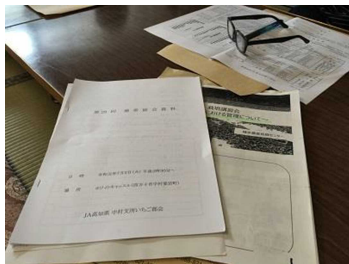
7月1日、大方支所出荷場で、オクラの目慣らし会が開催され、生産者9人が参加しました。農協販売課からは、規格変更点と規格外や等級落ちになる場合の説明がありました。

農業改良普及課からは今後の管理作業、台風や大雨対策、予察情報等を参考にした害虫発生の注意喚起を行いました。また、農薬使用記録・農作業記録をもとに生産工程を点検・改善していくように啓発しました。

生産者からは、白実になる原因や窒素成分の少ない追肥は何がいいか、防風ネットは張った方がいいかといった質問が出ました。

大方支所管内では新たに2名の方がオクラ栽培を始めており、個別巡回や部会活動を通じて、栽培技術の習得に向けた支援を行います。

IRAC、FRACって？GAPの取り組みは？ ・ ・ ・ 中村支所イチゴ部会第29回通常総会 ・ ・ ・



7月2日、中村支所イチゴ部会総会が開催され、7人の部会員が参加し、総会終了後には、市場との意見交換が行われました。

農業改良普及課からは夏期育苗期間中の病虫害・高温対策、GAPの取組について説明をしました。農薬のIRAC・FRACコードに関する質問が出され、コードに留意した農薬ローテーションが必要なことが理解されました。またGAPについても幅多版点検シートへの記載を続けていくことになりました。

今後は現地検討会などで作期に応じた病虫害防除対策に併せ、GAP点検シートの記録についても農協と協力しながら呼びかけていきます。

文旦の大玉生産のために ・ ・ ・ J A高知県土佐文旦部会大方中村合同講習会 ・ ・ ・



7月5日、四万十市竹島の国営ほ場で摘果と夏季剪定の実技講習会を開催し、16名が参加しました。

大玉で外觀品質の高い文旦を生産するために、7月初旬頃までには1回目の摘果を始める必要があることを周知し、果実に接触する枝や日射を妨げる枝の切除方法について実演を行いました。

参加者の関心は高く、参加者同士で摘果や剪定の手法について積極的に意見交換を行っていました。

農業改良普及課は、今後も生産者の技術向上に向けてわかりやすい指導をしていきます。

今年も露地オクラをつくろう！・・・西土佐支所オクラ目慣らし会及び現地検討会・・・



7月5日、西土佐支所管内のオクラ農家を対象に、目慣らし会と現地検討会が行われました。合計10戸、12人が参加し、出荷規格や今後の病害虫について活発に情報交換を行いました。

農業改良普及課からは他支所で調査中の天敵利用技術や株間比較試験について紹介しました。また異物混入防止策を始めとした生産工程管理の取り組みについて、啓発ポスターを用いて説明しました。

今後関係機関と協力して、栽培技術向上や生産工程管理の取り組みを推進していきます。

全国一の夏秋米ナス産地へ

・・・西土佐支所米ナス部会目慣らし会及び現地検討会・・・



7月8日、西土佐支所米ナス部会の露地栽培農家13人が参加して、目慣らし会と現地検討会が行われました。集出荷場で目慣らし会を行った後、栽培ほ場9ヶ所を回り、栽培状況を確認したり情報交換を行いました。

農業改良普及課からは今年の気象が生育に与えた影響、今後の対策について指導しました。また、生産工程管理の取り組みについて、啓発ポスターの説明の中で部会で勉強していくことを提案しました。

今後は栽培技術向上と併せて、生産工程管理の取り組みを推進していきます。

集落営農の広域連携に取り組もう！・・・土佐清水市集落営農組織連絡協議会・・・



7月16日、土佐清水市役所2階会議室で、土佐清水市内の集落営農組織の連携推進に向け、「土佐清水市集落営農組織連絡協議会」が開催され、集落営農組織3組織と関係機関合わせて18名が参加しました。

農業改良普及課からは、集落営農組織の広域連携の必要性について情報提供を行いました。参加した組織の役員からは「共同機械の導入も行いたい」との意見も出され、連携に向けた課題抽出のためのアンケートを実施することとなりました。

農業改良普及課では、関係機関と連携して集落営農組織の広域連携に向けて取り組んでいきます。

今後の営農に活かそう

・・・農業基礎講座&はちきん農業大学地域講座・・・



7月17日、農業研修生、新規就農者、女性農業者を対象に今年度1回目の農業基礎講座を開催し、14人が参加しました。

今回は、大塚製薬(株)から講師を招いての熱中症対策と普及課職員による土づくり・肥培管理についての講義を行いました。参加者はメモを取りながら熱心に受講し「今後の営農に役立ちそう」という感想が聞かれました。

今後も関係機関と連携して10月までに5回の講座を開催し、新規就農者や研修生等の栽培技術・経営・農業施策等の知識習得を支援します。